《板書例》

訓読文

主語　述語
鳥　語ル。
＋
花　香ル。
←
鳥　語リ、花　香ル。

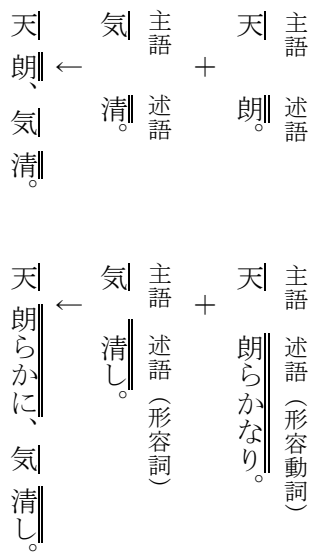
◆×「鳥が語り、花が香る。」
→**主格を表す「が」は用いない。**
○「鳥は語り、花は香る。」
→**強調を表す「は」は用いられる。**

書き下し文

主語　述語（動詞）
鳥　語る。×鳥が語る。
＋
花　香る。×花が香る。
←
鳥　語り、花　香る。

◆**訓読**
＝白文に送り仮名・句読点・返り点を付ける。
書き下し文
＝訓読した漢文を日本語の語順に書き表したもの。

《板書例》



《板書例》

修飾語　被修飾語
大（おほき）なる　器。
＋
修飾語　被修飾語
晩（おそく）　成る。
←
主語　述語
大器は　晩成す。

（大なる器は　晩く成る。）

修飾語　被修飾語
大（おほき）　器。
＋
修飾語　被修飾語
晩（おそ）　成。
←
主語　述語
大器ハ　晩成ス。

◆二字熟語はそのまま音読みで読む場合が多い。